京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金十六錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太
印刷人 松久[illegible]一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話大三番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

雜錄

●宿命轉換の成否（下）

天象子談

◎けれども道は唯だ性相學上の應用法で何人も直ちに實行することは餘程難事に屬するのみならず短日子の内に應用の結果が發生するものではない今玆に私の轉換と云ふのは此の原理の應用は之れを第二の問題として**天体の順逆に由る轉換法**である

即ち前に述べたアストロジーを基礎として宿命を轉換し又は開拓するのである我々の宿命はアストロジーに依つて定り若くば測定されるやうに之れを轉換し開拓することも出來る天体の狀態四時の運行は年々月々時々刻々に變轉循環するもので我々が主なる動作を此の變轉循環の順逆に一致せしむると云ふことである例せば明治九年五月生の人を以てせば天体に木性が循環して居る年月を撰び之れに向つて總ての動作を爲すと云ふことである植物の種を蒔くも之れを移植するも時を得なければならぬやうに人間の種々動作も時を得なければならぬ宿命は如何に善良であつても此の時を過ては必ず其の善良なる宿命は破壞され又宿命は如何に凶惡であつても時を得れば必ず其の凶惡なる運命も開拓して行く事が出來る而して此の轉換法は何人にも容易に出來る私が昨年六月以來數千人を鑑定した中で動作がアストロジーと適順一致して居る者は殆ど十數人かに過ぎなかつた殘りの何千人は悉く逆の方面へのみ動作し又は努力して居た者である世間往々病氣に罹つたり失敗者が多いのは宿命の外別に之れに原因するのである昨年鑑た中に山口縣から三十九年五月大連へ渡航し或る事業を始めた人があるが其人の宿命を觀るに非常に貧相な質でとても金が儲かりさうな人ではなかつたが夫れ以來事業はトン〳〵拍子に發展して約一年半足らずの間に十五萬圓ばかり儲けたと云ふ私は不思議に思つて同人が大連へ行つた時の天体を觀つて見ると果せる哉最大順と云ふのにブッ附かり自己の性と天体の生氣とが融合一致した結果斯く成功したと云ふ事が判然した併し斯樣な事實は普通科學や常識では一寸判斷に苦しむ事實であるが事實は那邊までも事實で幾億萬人を通じても此の天体順逆の支配を受けないものはない而かも之れに類した事實は獨り同人のみに限らず順の結果病氣が癒つた者や全体の凶運が挽回して調子が良くなつた者も少くない故に我々の宿命を轉換するには先づ天体の順逆の理に由るのが第一策で且つ大急務である

●西洋食品簡易鑑別法

レオナードパスチュー君

漬物には野菜の青色を美しく見せるため銅を加へ、又は熱き酢を銅器に入れて漬物を製するなど、種々の手段を講ずるが之は非常に衛生に有害である之を發見するには漬物茶匙に一ぱい程をよくつぶして之に鹽酸三十滴を混じ其の混合物の容つて居るコップを沸騰中にて二十分ばかり煮之れに釘を投ずると其釘に銅が附着する、前記の藥品は劇藥であるから扱ふ時に注意肝要である、ジャムやゼリーには澱粉や膠を混ぜられたものが多い、ゼリーの方は肉眼でも分るが、ジャムの方は仲々困難である、ジャムに混ぜられた澱粉を發見するには、まづジャム茶匙一ぱいを洋盃半分程を熱湯中に溶き之れをモスリンのこし器にてこし、其液にポタシユーム、パーマンガネートを一滴づゝ液の色の消ゆる迄滴らし『色劑使はれて居れば色取れざれ共幾分か薄くなれば夫れにて可し』後沃度の一滴を加ふれば、澱粉が混じて居たならば液が青色に變ずる、膠ならば前記の如く漉されたる液を同量のアルコールに混ずる時は膠混じ居る時は濃き白雲が液體中に生ずる、コーヒーは之を冷水の上に撒けば混物あるは沈めども純粹なるは浮く、又チコリー（キクヂサ）の混じ居る時は水の一部褐色に變ずる、卵は蠟燭の火に透して見れば新しきは大なる端の方に空隙なけれ共、古きは空隙あり腐りたるは一體に黒點がある、牛乳は少量を洋盃に入れ、編物針を二三吋牛乳中に入れ、斜に上に扛げて、牛乳が針の光に圓く附着すれば混物なき牛乳然らざれば混物あるか、又は薄きも

●平凡語

ヤートコ生

◎繁昌すれば増長して御客様を華主様とも思はず、木で鼻括つた取扱ひをする家あり、其不心得は申す迄も無き事ながら夫れに又是かけた不心得者と云ふは所謂通人なり『其所が乙でげす』と妙な所を乙がるに依つて不心得は悛められず終には逼塞と云ふことになるなり、之れを贔負の引き倒しと云ふ

◎此は飲食店に多き事なるが繁昌を看板に莫迦に長い間待たせるを自慢の家あり催促しても捗々しくは返事もせず便々として三十分から一時間を待たせて氣の毒とも思はず、不心得なり、然るを又通人なる不心得者あり『其所が彼家の身上でげす』と妙な所を身上に買つて早くすればモット繁昌すべき所を妨害する、此れ料理屋飲食店へは遊びに行くものとしてあつた昔の風が抜けないからなり

▲料理屋の料理は見るものと心得たる人と食ふものと心得たる人とあり、前者は仁者にして後者は知者なり、共に料亭の客たるべし、其分量を云爲する人は誘ふて之れを支那料理に赴かしむべし

外事一束

▲佛國　上院四十二に對する二百十二票の多數を以つて佛獨協約批准を與ふ

▲時々　秘密結社の暴行事件あるの外巴爾幹半島は今春に至り重大の騒擾無

▲巴威　耳新內閣組織は同地方議會中央黨領袖ヘルトリング男に命ぜらると

▲英獨　陸相訪獨結果は政治的懸案討議の外何等特別條約は締結せられずと

▲英露　兩帝來る三月中旬を期して會見すべしとの風說佛國新聞に傳へらる

▲露國　清國人蒙古人の海拉爾鐵道地域內に入る者に一層武裝解除を嚴にす

▲米國　墨國形勢の險惡に驚愕し干涉準備をなすも墨人の後響を恐れ躊躇す

▲和蘭　國政府も亦蘭領印度用として新軍艦建造追加豫算を議會に提出せり

梁川庄八（やながはしやうはち）

小金井蘆洲演

第百四回

白子の勘六初め一同の者は這々の体で代官屋敷から出て行つた、梁川は三浦三右衛門に禮を述べて長崎屋へ立戻つ



て歸りました、すると其晩何處から届いたか、盗られた荷物がチャンと長崎屋へ届いた、白子の勘六は梁川の訓戒に翻然として善人に立戻り、後年奥州仙臺に庄八に面會を致します件は後談といたしまして、翌日長崎屋の諸拂を濟せ、三浦三右衛門に別を告げて松坂を出立をなし、處々を見物し大和國奈良の舊都へ乗込ました、奈良の春日明神の前町に小刀屋善兵衛と云旅人宿がある、此家は舊家で現今でも小刀屋の家號で歷然繁昌を致して居りますが、梁川は此家へ投宿を致しました、此奈良と申す處は極めて幽邃閑雅な地でございまして、我朝の聖天子も六代の間此處に都を成して居りました、之を奈良の都と唱へさせられましたが、桓武天皇の御宇に山城國葛野郡長岡に都を遷に相成りました、夫から又宇多村に御遷都に相成りました、それが即ち明治初年までの帝都でござります、されば奈良は誠に都に近き處でござりますだけに、大分文物も開けて居りますし、又自から風流な士も多く住んで居ります、此處に鎭座まします春日大明神と申すは、天兒屋根命を祀りましたので、天兒屋根命は藤原氏の始祖でございまする、即ち天照太神八幡太神春日太神、之を三神と唱へて年々我々共の神棚に祭り奉つて朝暮拜禮を致す御神でございまする、然るに此奈良の町には其昔一種特別の刑律が設けてありました、それは何かと申しますと、明神様の境内に放つてある鹿を殺したる者は年の長幼を論ぜず、石子詰の所刑に行ふと云ふ掟でございまする、是は大和國の奈良の都には七大寺と云て大きな寺が七つございまする、其第一が興福寺、其次が東大寺、其次が元興寺、西大寺、大安寺、法隆寺、藥師寺之を奈良の七大寺と唱へます、其中で興福寺と申すは是れは勅願寺でございまして、春日大明神の御別當所でございまするで、春日明神には神主と別當とを差置れました、明神様の神領が一萬石、興福寺の寺領は二萬五千石、總て三萬五千石でございます、此御朱印若くば寺領など、申しまするものは丁度武家高の一層倍に當りますであるから、寺領三萬五千石は武家の三十五萬石ぐらい、是だけが興福寺の所領になつて居ります譯で誠に富貴な寺でございます、所で興福寺のお預り申す春日明神境内の鹿を殺したものは石子詰に行ふと云ふ掟は昔から傳つて居ますが今日まで一度實行したことはござりませぬ、當今奈良觀光に參りますと、案内者が澤山居りまして、廿錢か遣しますと諸處說明をして案内をしてくれますが、兎角牽強附會の事のみ申して、事實を矯めて云立ますが、猿澤の池の手前に三作の塚と云のがあつて、鹿を殺して石子詰になつた其跡へ墓標に紅葉を植付たのが繁茂して居ますが、彼は往昔識者が那の樣な者を捏造して後人の誤て春日明神の神殿を汚さぬやうにして置た者で事實ではありません、デ奈良は京都諸司代の管轄に屬し、奈良町奉行と云者を置いて町の事を取扱ひを致します、然るに生憎にも庄八が奈良の都に赴き一夜小刀屋善兵衛方に止宿致して居りますると、明日春日明神の境内三笠山の麓に於て石子詰のお仕置があると云ふ噂、何者が石子詰の掟に當らるゝやと其罪人を尋ねて見ますると、一体奈良の町には旅籠屋が多くございまする、奈良は諸國の人の多く入込む地でございまするから、旅籠屋は他國に勝れて何れも立派なものでございますよ、梅川忠兵衛の淨瑠璃にも奈良の旅籠屋三輪の茶屋とございますから、旅籠屋では奈良は隨分名高い處でありまする、數ある旅籠屋の内に雉子屋兵助と云家に、兵吉と云ふ忰がある、今年十三歳過つて鹿を殺したと云罪で召捕になり、吟味の末其罪石子詰に適當すると云ふので、明日奈良の町引廻しの上三笠山の麓に於て、石子詰の刑を執行すると云事だ、此事を聞て梁川庄八が其掟の非道なる事をならして此石子詰の罪人を助くると云ふ一條は明日で御座ります

東京電報

▲**上院豫算審查期限** 貴族院は十五日四十五年度豫算案審查期限を同日より三月五日迄と決定せり

▲**淸國事件費可決** 十五日衆議院は鐵道新線敷設豫算及淸國事件費支出の件を可決せり

▲**列國軍艦表祝に應ぜず** 南京武昌芝罘其他各港に在る支那軍艦は十五日共和成立を祝する爲に滿艦飾を施し列國軍艦にも交渉したるも各國軍艦皆應ぜざりき

▲**淸帝退位奏上** 内田外相は上奏書に淸國皇帝讓位の公報を添へ西園寺首相及侍從職の手を經て親しく上聞に達したり

▲**天津の兩派會見** 南京臨時政府よりは伍廷芳王兆銘又た袁世凱の代理として唐紹怡を天津に派し十六日を以て會商を遂ぐる事となれり

南京特電

▲**黑龍江の架橋決定** 露國は黑龍江架橋に決定し一千九百十五年七月迄に完成すべき豫算案を編成

▲**孫大統領候補辭退** 孫逸仙並に其閣員は參議院に對し今や大中華國の統一を見たり余等須らく辭職すべし依て新たに中華民國大統領を選出し國民の輿望に添はんことを期すと通告し袁世凱を初回大統領に推し二月十五日を國民大祭日と爲す

▲**袁推薦の電報** 孫逸仙は天津に開會の官革代表者會議に向ひ左の電報を發したり
淸帝退位し袁世凱氏は共和黨の爲め多大の盡力をなしつゝあるは嚮に伍廷芳に電報したるが如し予は此機會に於て斷然臨時大統領を辭し袁氏を後任に推薦したく希望す代表者會議に於て此意を諒とし袁氏を選擧されたし

▲**支那統一祝典** 南京政府は十五日支那統一祝典を擧行し上下の歡聲天に冲す

▲**革軍側と首都問題** 革命黨は南京首府說を固執し政治組織に就ては米國の制度に則る方針なり大總統は國民議會に於て選擧さるべく宗敎の自由と徵兵制度は除外例たるべしと主張しつゝあり

奉天特電

▲**官革兩軍激戰** 十六日午前二時鐵嶺中立地帶附近に於て官革兩軍衝突し激戰の末革軍利あらず遂に六時頃より退却し始めたり

●**漁業税令要旨** 十六日總督府制令第二號を以て公布せられたる漁業税令は十四ヶ條より成り其の要旨左の如し
△漁業税は漁業の種類により課税標準及税率を異にし徴收乃至減免せらる △一定の水面を區劃して爲す漁業並に免許による漁業にして然らざるもの及トロール漁業の税金は免許又は許可を與へたるとき一時に初年度分を徴收す △潜水器を使用する漁業、鯨以外の海獸獵等、風力潮流又は螺旋進水器により運航し發網を引曳して爲す漁業、漁船を以て發網を用ゆる漁業、隨所に曳網を爲す漁業、揚網漁業、建網漁業、其他前記以外の漁業税は許可又は鑑札交付の時其の有効期間全部の税額を徴收す △脱税者は税額の五倍に相當する罰金又は科料に處せらる △舊法により漁權を有するもの乃至舊法により尚漁權の存續期間を有するものは本年度分に限り舊税額を徴收す △舊法時代より漁權を得漁業令により認められたる已得權漁權者の徴税は本年四月末日迄適用せず △本税令施行前許可又は鑑札を受けたるもの丶漁業税は其の有効期間舊法の税額により徴收す 本令は漁業令施行の日より之を施行す

●**鮮銀利子引上**（内議） 過般日本銀行が金利一厘方の引上げを爲したるに準じ朝鮮銀行にても亦金利の引上げを實行せんとの内議ありとの風說に對し鮮銀當局者の語る所に依れば朝鮮と内地との經濟關係は既に常に相均衡せざるべからざるの狀態にあり昨年十一月日本銀行にて金利二厘方の引上げを行ひたる際にも當行は之れと均衡を保つ爲め同じく二厘方の引上を行ひたる程なれば此際亦預金貸出共に一厘方の引上げを爲すべく内議中なり預金に至りては當行の性質上敢て金利の引上げを試み預金の吸收策を講ずるの要を見ざれど既に貸出金に於て引上をなす以上は預金の平を引上るも亦公平を失はざる所以にして右金利引上げ内議に決定するとしても其の實行には多少機の熟するを待つ必要あり多分三月一日より之れが實施を見るならんかと

●**新任軍司令官着期** 十四日朝鮮駐劄軍司令官に親補されたる安東中將には來る二十七日小倉發直ちに赴任の豫定なりしも十五日急に豫定を變更し本月下旬東上陸軍省と事務打合せの上來月始め赴任の旨軍司令部に通報ありたり

●**手形組合成績** 度支部調査に係る本年一月中の各手形組合に於ける保證及仕拂金額を聞くに如左

組合名	保證額	仕拂額
漢城	一三六、七二〇圓	一四三、六二〇圓
水原	一八、一五〇	二二、一八〇
平壤	六六、九一〇	七五、三三五
鎭南浦	四一、〇二〇	四四、二三〇
大邱	四八、一五〇	五〇、七四〇
全州	三三、二五〇	一七、〇〇〇
晉州	五二、六六五	三三、二九五
光州	三〇、二八〇	二八、七五〇
合計	四二八、五五五	四二四、〇五〇

●**内地人小學校教科書供給機關** 從來朝鮮に於ける内地人小學校教科書の供給につきては別に機關の設けなく當該學校又は日本人會等に於て京城及釜山等の書肆より購入の世話を爲し間に合はせ居りしが輓近在住内地人の增加に伴ひ學齡兒童の數日に月に增加の傾向を生したれば從來の間に合せ主義にては到底滿足し能はざる狀況となれり依て當局者に於ても先般來供給方法に關し取調中の由なりしが今回愈々國定教科書共同販賣所に於て京城及釜山の二個所に特約販賣所を設け來學年度分より實行することに決したる由なり特約販賣所の下には地方若干の取次販賣所を設くる由なれば今後は購買者に於て大に便利を得るに至るべし又從來は購買者に於て定價の外に運賃を負擔せし由なれども自今運賃は一切販賣所の負擔に決したる由なり

●**府尹郡守會議續開** 府尹郡守會議は十六日も引つゞき午前十時より開會し各府尹郡守より提出の事項につき審議諮問して正午散會し午後は總督府同院を參觀したりと尚同會議は十六日を以て閉會の豫定なりしも都合により一日延期し十七日迄開會すべしと

●**商議總會議事** 既報京城日本人商業會議所總會は十五日午後七時より同所樓上に於て開會さる出席議員十五名議案は（一）日鮮人取引改善の件（二）官營事業に對する民業調查の件（三）南大門驛を幹線と爲すの件及追加議案として店員講話會設置の件等なるが（一）は原案通り可決し（二）は現在度支部に於て經營せる瓦及煉瓦土管製造は全部廢業せしめ同時に印刷事業は民業に影響を及ぼさざる範圍に於て營業を爲すこと（三）は曩報の如く京義線一山驛邊より南大門驛に直通せしむることゝし何れも近々の内當局に建議することゝなしたるが尚追加議案の店員講話會は一ヶ月一回以上會議所に集合し知名の士を招きて店員のため講話を爲さしめ之れが經費は會議所より支出することゝなして深見副會頭の米穀移入税撤廢運動に關する經費の報告あり午後十時散會したりと

●**南大門外道路竣工期** 南大門より同停車場にいたる間の道路取擴げ工事は昨今大に進捗し兩側道路は八分通り竣成を告げ餘すところは道路の體裁及び地均の等なるが唯北側は過般土地買收を了し昨今家屋の取毀しに着手し居るを以て全部の竣成は三月末頃なるべしといふ

●**穀物出廻狀態** 市内に於ける内地人米穀商人等は昨今舊季節に際し從來賣惜み一方なりし地方鮮農等が金融の必要上米穀を賣出すものあるべく多少の出廻を豫想したるも米穀は依然少しも出廻りなく只僅少の龍山大豆の出荷あるのみで思惑外れの氣味なるが其の原因は地方鮮農の金融意想以上に潤澤なるを以て豫定の高値に至らざれば品多きに因るも敢て賣出しを好まざると又た一方には雜穀類の値段も騰貴を示しをる爲め彼等が昨年來先づ雜穀の取引を濟したる後米穀の賣出しに着手するを以て金融上便宜多きを知るに至りたるに因るといふ

●**關釜連絡陸岸設計**（下） 關門沿岸に於ける關釜連絡船碇繫の棧橋架設計は既に成り之に伴ふ豫算案は本年度計上しあれど内務省との交渉及多少の變更を要する點ありしが愈々確定したりと云ふを聞くに下の關驛東端細江灣入口埋築の設計を變更し關釜連絡船の棧橋は幅十一間横百二十間の横棧橋とし關門連絡船棧橋の兩方に建設し現在貨車連絡地點の東部一部を埋設する由にて工事は不日着手し本年度中に竣工の筈なり

●**奥村侍從武官入京** 西鮮地方巡視中なりし奥村侍從武官は十六日午後二時八分南大門着列車にて入京せり

●**侍從武官出發期** 入京中の奥村武官は十七日午前九時三十分南大門驛發大田大邱等を歷問の上北鮮地方に向はる

●**上田大將歸京** 南鮮地方視察中なりし元軍司令官上田大將は十五日午後八時三十分龍山驛着列車にて歸京せり

●**松永中將病狀** 松永第二師團長は十六日午後十二時迄に依然として昏睡狀態にあり現狀を以て推すときは快復覺束なかるべしとのことなり

●**李王家の師團長見舞** 昌德宮李王殿下には玄百運を德壽宮李太王殿下には朴叙陽を代理として第二師團長官邸に差遣され松永師團長の病狀を見舞はしめられたり

●**松永夫人の仙臺發** 松永師團長危篤の報に接したる夫人松永富子は十五日朝仙臺發令息歩兵中尉松永仙吉氏を伴ひ渡鮮の途に就きたるが當地着は十八日午後八時四十分なりと

●**頻々たる見舞電報** 松永師團長危篤に付石本陸軍大臣、岡同次官、乃木大將、長岡子爵、山縣政務總監、大屋長官、荒井長官、野田主計總監、森軍務局長其の他各聯隊より見舞の電報頻々たり

●**引込線貨物取扱開始** 既報豫て工事中なりし仁川驛と仁川稅關構内間の鐵道引込線落成に付て同構内に荷扱所を新設し愈々本月二十日より輸移出入及び回送貨物の取扱を開始することゝなれり右引込線は市街商業中心地に接近せるにより荷主は從來に比し發送引取其他に就て便利なること少からざるべし因に右引込線料金は斤扱速達便扱百斤に付金一錢噸扱一噸に付金五錢なりと

●**民刑令實施期** 新たに發布さるべき朝鮮民事令及刑事令は既記の如く目下法制局に於て審査中なるが右審査終了の上御裁可を仰ぐべきに付多分三月始め頃なるべく御裁可の上は直ちに總督府に於て官報號外を以て發布し來る四月一日より實施を見るに至るべしと云ふ

●**定例長官會議** 十六日總督府に於て定例長官會議を開き倉富長官以下列席政務の打合せを爲し正午散會したり

●**教科書特約販賣所** 別項内地人小學校教科書の供給機關たる京城及釜山の特約販賣所及其の供給區域は京城特約販賣所の分京畿道、忠淸北道、忠淸南道、黃海道、平安南道、平安北道の各道にして特約販賣所は京城本町日韓書房又釜山特約販賣所の分は慶尚南道、慶尚北道、全羅南道、全羅北道、江原道、咸鏡南道、咸鏡北道の各道にて特約販賣所は釜山大廳町博文堂なりといふ

●**苗木需用趨勢** 昨年來地方鮮農の農作法改良に伴ふ各種苗木苗樹の需用著るしく增加したるは既報の如くなるが苗樹種類は桑其他山林用果樹苗に限られ桑苗は主として慶尚全羅の各南北兩道に需用多く魯桑、赤木、市平、十文字、多胡、早生等何れも養成を試みられざるなきも其の筋の奬勵の結果魯桑苗八九分を占め其他は殆ど云ふに足らず又は果樹苗としては苹果、梨、葡萄、桃の四種最も需用多く苹果苗は大部分北鮮地方の需用にして其の種類は紅玉、柳玉、國光、倭錦等あり梨も亦北鮮地方に養成せらるゝもの多く種類は長十郎、明月、晩三吉今村秋、バートレット、ロスチの各種好評に葡萄及び桃は南鮮各地の栽培最も盛んにして葡萄はレーデーツシントン、ブラックハンボルク、マスカットハンボルク、桃は上海水密桃サルウエー苗最も朝鮮の地味に適するとて需用盛んなりと

●**鮮人節季と内地人側銀行** 京城鮮人側節季の内地人側各銀行に及ぼしたる影響は實に微々たるものにして市内鮮人側各銀行が多少貸出等に警戒を加へたる餘波が内地人側各銀行の貸出に於て多少の增加を示したる位にて之れに依つて見るも京城鮮人間の舊節季金融は格別の緊縮を示さゞるが如しと

●**侍從武官の參考品觀覽** 別項奥村侍從武官は十六日入京せられ直ちに警務總監部に赴き同所に陳列しある甲午役以來の參考品を觀覽せらる由なり

●**淨土宗青年會講演** 淨土宗青年會にては十七日午後七時より大和町開教院に於て講演會例會を開き久家開教使の『天籟に聞け』會友某氏の『所感』と題する講演ありと

●**竹本高級副官の歸任** 南鮮地方視察中なる竹本軍高級副官は十五日夜歸任

●**豐原憲兵中尉着任期** 三浦大尉の後任たる憲兵中尉豐原俊雄氏は來る二十八九日頃着任の由なるが任地は水原分隊なりと云ふ

●**半島鑛業振興上の意見**（其十）

△岡崎日韓瓦斯專務談 吾人の聞く所を綜合すると朝鮮鑛業界の現狀は未だ其の眞の初歩たるに過ぎぬ其の初步の階段に在る丈け將來は益々有望なりと稱し得るのであるが從來官民共に可及的其の力を鑛業の開達に盡し技術者等を派遣して諸地方の鑛床鑛脈鑛山經營法等に就き調査を行はしめたが要するに朝鮮鑛業は今日未だ調査、發見、試掘の時代であつて投資、採掘の時代には到達して居らぬので此等兩時代は期して將來に待つべきである扨て朝鮮の鑛產高は之れを人に訊すと、最近四十三年度の分一千萬圓或は一千五萬圓と答へるものが多い之れを最高額の千五百萬圓としても實に微々たるものではあるまいか近着の雜誌に依ると北米合衆國一昨四十三年の鑛產額は十八億七千萬弗で又た銀の產地として有名なる墨國の四十三年度銀產出額は七千萬オンスの多きに上つて居る勿論狹少なる朝鮮の面積は其の廣さに於て到底米墨兩國に比すべくもないが而も尚ほ此等兩國に比し鑛產額の僅少なるには嘆聲を洩さゞるを得ない朝鮮は地勢上鑛床の分布狀態より觀て其の將來鑛業盛んなるに至つては米墨兩國に及ばぬ迄も稍之れに匹敵すべき鑛產額を擧ぐることは敢て不可能のことではないと信ずるのであるが果して然りとせば今日朝鮮財界の大問題として論ぜらるゝ移輸入超過の如き朝鮮鑛業發達の曉には敢て意に介する必要を認めざることゝなる則ち地中より出づる鑛產物の產額を以て漸々移輸入超過額を相殺するからである更に轉じて世界經濟界の趨勢を見ると常に一國鑛業界の勃興の勢は一般經濟界勃興の先驅をなして居る最近の銀相場は二十七片十六分の九だが二三年前迄は二十一二片に下落し又た銅の最近相場は六十九磅であるが二三年前迄は是れ亦五十三四磅に下落を示して居たのであつたが其後漸次銀銅相場の昂騰と共に世界の財界も亦好調子を保つに至つたに見ても此の理を知り得る譯が世界の企業界は鑛業の發達と共に將來一層旺盛の現象を呈するであらう之れに依つて之れを見れば朝鮮財界の振作も亦恐らくは鑛業の發達に伴ふ道理であるので此際自分が朝鮮鑛業振興上希望することは一、可及的大資本家の投資を望み採堀に當り優良なる技師技術者を使用し完全最新式の器械を用ひ大規模に鑛山經營を行ふこと二朝鮮鑛業の經營者は能ふべくんば之れを日鮮人に限ること勿論必要なる場合には外資輸入等は毫も差支ひなく決して狹隘なる排外思想より此の論を唱ふるのでないが斯く經營者を日鮮人に限定することは國家經濟の上より見て必要なるべきを思ふ三、朝鮮人等に對し今日に於て鑛石及び鑛業に關する智識を與へ資料學校に於てもミネラルケミストリーミネラルフエジックスを習得せしめ鑛業思想の普及を計ることの三要件であるが東洋拓殖會社の如きが朝鮮鑛業を經營することが出來得るとせば最も當を得た經營者だらう

▲京城手形交換高▼

二月	金高	枚數
十六日	三四三四〇八、八八〇	六一二

▲茶袋▼ 釜山の大池忠助が對州から代議士候補に推薦された、一孤島と雖も對州は案外に政治思想が發達して居つて政友會や國民黨の支部まで置かれてある、大池を推薦したのは此二政派に屬せる者で無い事は言ふまでもないが、大池は其候補推薦者に對して自分は代議士たる希望を有せぬからお斷りすると言つてやつたそーだ▲此前の總選擧の折に、同じ釜山の素封家福田增兵衞が、對州の一部人士から候補者に推されたが、增兵衞老人乘氣になつて、政見書見たやうなものを撰擧民に配付したまでは頗る振つてをつたが、サテ其結果は落選であつて、甚だ氣の毒な感じがあつたが、之に較べるとずツと大池だ、福田老人に比し自知の明ありと言ふべしだ▲當地にも來る議撰擧に際し、對州から打つて出る積りで、假に政友會に入會するやら種々奔走してをる者があるとか▲京城在住朝鮮貴族中李址鎔の外に〆ダ賭博を常習としてをる者が數名をる、彼等は李址鎔の檢擧されて以來[illegible]足のビクビクものだツ・ナ。

●たのぶ述懐談 本日休載

獅子身中の虫（一）

▽横領した金で紳士面

京都市四塚に生れた身で當時京城古市町二丁目裏山に居を構へ附近の土地を手に入れ三十餘軒の貸家を建てたるのみか無一文の放浪兒が僅か三四年の間に數萬圓を蓄へ紳士然として横行し居る長谷川和三郎（三）と云ふは昨年十一月中舊主人なる古市町二丁目初田支店主初田彌三郎より背信罪及び横領罪として警務總監部に告訴され目下京城地方裁判所檢事局境檢事の手に審理中なるが今彼れの今日に至れる徑路を掲げて一朝の不心得より主人の金を誤魔化しては私腹を肥やし或は遊蕩の費に充て早晩累紲の恥辱を殖民地の野に晒さんとしつゝある類似の徒を悔悛せしめ知らずして獅子身中の虫を養へる店主を覺醒せしめんとす彼れ長谷川は二十七八年戰役後臺灣が我が領土に歸したる時恰も大坂市西區靭の雜貨商小倉商店が新領土に支店を設置するに際し店員として渡臺し臺北支店に勤務中店員等と共謀して殆んど店金の全部を費消したる爲め陸軍用達として盛んに營業し來れる小倉商店は數萬圓の損害を被り遂に破産するの悲運に陷りたり而して該問題の主謀者は實に長谷川和三郎にして同地に於ては誰一人其悖德を責めて指彈せざるはなき状態なれば臺北にも居堪らず其の後諸所を徘徊しては善からぬ事のみ企てゐたる中日露の國交斷絶し遂に兵火を交ゆるに至りしかば好機逸すべからずとなし奸智に長けたる彼は傳手を求めて北韓軍後備第一師團兵站部附の雇員と成り澄まし軍に從ひて渡鮮し專ら食糧品の買ひ集めに從事し居たるが性來の泥棒根性は斯かる國家危急の場合に際しても首を擡げざるを得ざるものか大膽にも上官の眼を晦まして私腹を肥すに努めたりしが惡運盡きて大事を惹起するに至らざる中に兵隊の手に探知され解雇さるゝに至れり進退谷まりたる彼は止なく釜山に至りたるも濡れ手に粟と云つた儲け口も無かりしかば三十八年の冬京城に入り込み親戚を利用して種々計畫するところありしも悉く失敗に歸したれば釜山に在る實兄も呆れ果てたる奴とは惡びながらも血を分けたる弟のこととなれば窮境を看過するに忍びず自ら出京して南大門通二丁目なる現在の濱物商島屋商店の場所に食料品雜貨店を經營せしむることゝなれり斯くして暫らくは神妙に稼業に勵み居る中四十一年の春被害者なる初田彌三郎が滿韓視察の途次京城にも立ち寄り將來朝鮮の開發に連れてセメント及び石灰等の建築材料商が有望なるに着眼し京都に於て自家斯業に從事し居るを幸ひ速かに支店を設置せんものと前記長谷川和三郎が從弟に當るより好ましからぬ人物とは知りながら他人に委託するよりは安全ならんと思ひ同年五月現在の古市町二丁目に初田支店の看板を掲げるに際し主任として店務の一切を委任したるが抑も問題を惹起するの因にて是れより奸奴長谷川は初田支店主任としての社界上の信用と店金とを恣まゝに流用し惡辣手段を講じ私利を貪るに營々たりし結果遂に刑事被告人として法廷に立たざるべからざるに至れり（つゞく）

佛說、因果應報

▽鳥も撃れりや痛い

原籍富山縣下新川郡片具谷村生當時仁川龍岡町二丁目盤月孫太郎方居住石工職谷口長次郎（三九）は去月三十一日友人黑田某と共に豐德郡題井浦附近へ銃獵に行きしに圖らずも朱安居住の熊本縣天草生田中藤吉（三八）と邂逅し同勢三人にて狩獵中二月五日午前八時頃田中は途中にて石に躓き轉倒したるに携へたる銃は轟然として發彈し前方に立ちし谷口の左臀部へ雉子彈三彈命中負傷せしめし騷ぎに六日船にて歸仁し直ちに仁川病院に收容し治療を加へ田中は該費用は全部支辨する而已ならず晝夜附添ひ看護し居たるも谷口は十二日に至り遂に瓦斯中毒を惹起し死亡したりと因に仁川署にては取調べの結果過失殺傷罪として一件書類を檢事局に送付せりと

不貞な鐵はつね

▽夫を捨てゝ看護婦志願

香川縣坂出町生れの鐵はつね（二六）と云ふは夫の結柴某なる者と二年前手を携へて渡鮮し釜山に於て質屋を營み居たるが商業馴れぬ兩人は瞬く間に所持金を費ひ果たし家政日に〳〵傾きかゝりたるより妻のはつねは不貞にも先頃夫を振り棄て看護婦志願の目的にて在京城總督府官吏田中半四郎及び高橋留之助の兩氏を賴りて出京したれば夫は云ふも更なり弟の鍊太郎と云ふが焦慮し再三田中高橋兩氏に宛て電報又は郵便にて照會したるも何の音沙汰なきにぞ此程鍊太郎より南部署長に宛て搜索願ひを差出したり

相場電報の僞造

▽有力なる嫌疑者引致

去十二日午前仁川米豆取引所へ大阪堂島取引所の相場入電が恰も仁川取引所が大阪小報社に依托の暗號を使用したる奇怪なる虛僞の電報なりし事發覺するや仁川署にては直ちに該犯人の嚴探に着手し十五日午後九時阪下今井の刑事は最も有力なる證據を發見したるものゝ如く突然にも海岸町藤本合資會社仁川出張所店員靜岡縣生川島宏（二一）を取押へ本署に引致し嫌疑者として嚴重取調中

樽屋の梅奴

藝妓の一萬圓處分法

當人の口から二十一歲の春を迎へたばかりと云ふが如何に贔負目に見ても二十四五には見ゐること請合なほど老けてゐる若勞性らしい女

若しも其樣なことがあつたら外に望みはありません私共の如な稼業に止を得ない事情があつて身を沈めなければならぬと云ふ御氣の毒な女性がありましたらば例へ一人か二人でも宜いからツイた金を出して救つて上げるといふのも鳥滸がましう御座いますがマア止めさせる樣にしたいと思ふ位です私の生れは錦帶橋で名高い岩國ですが丁度小學校を了りました頃のことです幼少の折から遊藝を親達に仕込まれましたのが不幸の原因で金の指環を光らしたり縮緬の二枚重ねを身に纏つたり朝から晩まで絃歌の音が堪わぬ立派な御座敷に人の世の痛苦や煩はしい一切の事を忘れてゐるかの如に面白可笑しく暮してゐる藝者……淺薄な女心に表面は如何にも華美に見ゆる藝者の生涯に憧れまして親の意見も馬耳東風と聞き流し墓ない虛榮の夢を追ひ吳市から雛妓となつて現はれたのが十四歲の時でしたソレから間も無く廢業まして暫らくは婦人として一通りの心得なければならぬことを學んで居りましたが十六の春でしたか這度は馬關で再度の勤めをすることになりましたのソレからと云ふものは藻草の如に浮世の風の吹く儘に流れ〳〵て京城にまで來てしまつたのですが今ではツタ〳〵と稼業が厭やになりました今更愚痴つたところが詮ないことですがホントに後悔してゐます一時でも速く苦しい境遇から逃れ出て眞面目な暮しがしたいと思つても放心したことをすれば却つて苦勞を増す樣なものソレに藝者あがりと人樣の口の端に上るも癡しと云つて何時までも脱け出さずにゐれば自暴自棄になつて了ふのは知れたこと前途を想ひますと眞闇な雲がお太陽さんの光を遮つてゐる樣でと……謂つてホロすと一滴恁麼どころで燕てるは勿體ないと思ふた……マア私はツマラヌ身の上話なんかをして了つたの恥かしいわ是れぢや一萬圓問題にはならないのねオッホホ……と逆ッ葉に笑つた時にはモーお座敷盤になつてゐたが言ひ廻しの巧妙な言葉の豐かな所、此話にタルミの無い所で知れよう。

電車から眞逆樣

十五日午後五時四十分頃龍山發（所）路行きの電車五十八號が南大門通三丁目識仁堂藥房前を通過の際一名の鮮人乘客が飛び降り眞逆樣に大道に投げ出され面部に微傷を負ひたるが一杯機嫌のことゝてアイゴーを連發しながら何れにか立ち去る

取引所の責任問題

▽虛僞電報の出所に就て

仁川米豆取引所に去十二日奇怪にも同所使用の暗號電報の贋物入電あり一時市場を騷がしめし爲め不意に多大の損失を招きし者尠なからざる由なるが該事件に就き某氏の語る處を聞くに若し藤本合資會社にして取引所の暗號を使用し大阪へ依賴し打電せしめ而して市場に動搖を來さしめ相場の高低を左右し奇利を得んとするは實に惡みても餘りある處置と云ふべけれども一方取引所に於て該暗號を他人に知らしむるに至りしは必竟取引所の恐も又甚だしく以て取引所に於ても其の責は免るゝ能はざる可しと

京城の吹雪

十五日の夜半から降り出した雪は十六日朝來の西南の烈風に乘つて勢を逞ふした正午頃は實際目も開けられない大吹雪で咫尺を辨じかねた終日降たり歇んだり惣餉に熱燗を呼んだ人も多かつたらう

井出三郎は十ヶ月

井出三郎は十六日地方裁判所に於て懲役十ヶ月を宣告され李址鎔等の判決は無期延期となれり井出三郎は控訴す

●横領か横領か 京城中部承文洞七十七統加二戶劍呉俸（三二）は某鮮人より爪元次郎に京城北部齋洞十一統四戶所在草家九間半並に宅地一百六十三坪四合九勺此の價格八百圓にて賣却方委託され其の金員を横領せし如く北部警察署に告訴されしも證據不充分にて一件書類は二月十六日京城地方裁判所へ廻附さる

●銀側時計を盜む 京城北部紅峴二統六戶金石市（三〇）は二月十二日南部櫻井町七一の五小野久太郎の小兒が銀側懷中時計を井戸側に置き忘れし隙を窺ひ竊取し即刻中部紬洞質屋駒井猛熊方へ入質に行きしを密告され北部警察署の巡査に準現行犯として逮捕さる

●仁川古物商に科料 仁川桃山町三十一番地古物商古垣內伊助（六〇）は去一月二十五日他人より韓國時代軍用銃二挺及び空氣銃三挺を買入れたるも帳簿に記載なき事發覺し告發せられ古物商取締規則違反として科料金一圓に處さる

●日韓禪寺と觀音講 曹洞宗初開道場日韓禪寺にては十七日午後一時例月の通り觀音講を執行並に說教禪學道話和讃等ありと因に同寺主管大隆大定禪師の話題は觀音の妙智力なり

●人力車夫の拘留 京城北部管內太井洞四統十戶李泰一方同居秋德三（三二）は二月十六日午前十一時無認許にて人力車挽夫をなし居るを銅峴分署の巡査に發見せられ拘留二日に處せらる

●クツ 二月十五日午前七時頃京城西部獨立門通二丁目十七番戶小路方山田德廣は同家玄關にて短靴一足五圓餘の物を竊取され即刻其筋に屆出たり

●クツクツ 京城西小門外和泉町百一番戶則近喜代熊方玄關に於て二月十四日午前九時頃短靴二足價格八圓餘の品何者にか竊取され西大門分署に屆出づ

●惠み金 仁川本町三丁目大石季吉より白米一斗▲仁川吳服商組合より金三圓寺町竹本寅壽の一家へ惠贈す

藝妓義太夫會

京城中券合併の藝妓義太夫大會を二月十七日より三日間毎夜午時五時から壽座に於て開演なす由なれば定めて好評なるべく其の初日の語り物題は如左

御祝儀寶入舟（入登）壺阪澤市內（梅の家愛子）先代萩御殿（開進亭春葉）十種香の段（靜陽軒貞子）梅の由兵衛聚樂町の段（松葉亭茶羅丸）梅川忠兵衛新口村の段（花月席綱助）日蓮記三段目勘作住家の段（ゑびや勝次）岸姫松三段目（櫛華亭三次）伊賀越八ッ目岡崎の段（補助竹本奈良梅 大切掛合妹背山三段目吉野川の段（一座總出）

新町だより

▲井門支店の勝代と申すは去年の十月頃罷出た姐さんだが、横濱の埠頭で深呼吸をして來た丈に、英語や獨逸語の口舌と來たら手の物で、就中ホオークとナフキンの遣分などは天勝の奇術に類するものがある、昨今此奇術に驚歎して切に見受の交渉をしてゐる受負師があるとの事だが、首尾よく整ひました節には、頗る非常のお手拍手喝采あらん事を前以て希望する▲第一樓の豐花と言ふと女義太みたいな源氏名だが、生國はおけさ踊の本場、色の白いのと娼質は新潟に止めを差したもので、與から男に迷はないと言ふのを特長として居る、ところで此妓が京城まで流れて來た近因に就てはちとそれとは反對の次第があるが今後はそれにこりて倍々新潟式を發揮する事に當人深く決心してゐる相だからその積りで▲珍なる新町券番はまず〳〵其本能を發揮して昨今では骨董品に類する第一種藝妓十人を越ゆるに至つた、新町で一番洒落た遊興はこの十人を引付へ列べて羅漢さんが揃つたら廻そじやないかと言ふ奴を行ふのが面黑いと誰れやらが申した。

藝妓の性相と運命（三）

天象子觀識

目下京城ホテル別館（柳翠樓前）に於て一般運命鑑定中なる天象子に忙中の閑を割いて標題の如な事を囑して快諾を得た、何しろ忙がしい中での鑑定執筆だから毎日と云ふ譯には行くまいが兎に角讀物として當人の心得として面白い事と思ふ。（一記者）

さく家 文之助

お前さんは筋骨質と營養質とが發達した方の柄で**男性的女質**と云ふのである、智力機關の前頭部即ち額面＝天庭天中、司空と云ふ邊から人間力の表彰地である鼻を通じて人中地閣に至るまで先づ缺點はない、女としては餘り感心した方ではないが**人間**としては**頗る賴母しい**、其の口と鼻には心性機關の名稱である秘密性、破壞性、抵抗性、理財性の機能が完全して居るから時々大膽な思ひ切つたことを目論見もするし行り遂げもする、**額の生際**などは普通から云ふと甚だ面白くない、**點を損**じてゐるが私から云ふと其れが面白い、觀察力や反省力、思考力が發達してる表彰で碎いて言へばお前さんが怜悧なのは其處にあるのだ、唯だ怜悧なばかりでなく其處には**天祐の力が宿**つてゐる目上の引立もあるだらうし人から可愛がられもする、思ふことが都合好く運んで餘り滯りはない、成程初年から中年の初めに至る間に多少の苦勞もあり頓挫の期はあつたにもせよ其の苦勞や頓挫の間は餘り長くはなかつた筈、若しお前さんが男であつたら一廉立派な人になれる富も地位も併せ得て相當に權力家ともなれる人だ、よし女にしても**獨立して充分の働きが出來る**、尤も女として亭主を持つのは當然のことではあるがお前さんは亭主を持つても持たなくても必ず獨立して行ける亭主を持つても大抵の男はお前さんの支配を受け部下になる位なものだらう、商賣は料理屋にせよ待合但しは女郎屋にもせよ**成るべく大きな事**がよろしい水性だから水商賣が宜いとか火性だから火の商賣が宜いとか左樣な非文明式な馬鹿氣たことは斷じてない、人を大勢使つてチャキ〳〵と切つて廻す事なら何でもよろしいお前さんは運勢の吉い時を撰んでやつたら株式や相場に手を出しても隨分當てる成久などにはなれなくても成文位にはなれる、**現在の運勢は充分**で無いが中年の終り初年の初じめ四十二三歲から愈よ發展して愈よ克くなる船を流に行るやうに萬事が**トン〳〵拍子**の順調に向ふことが出來るが、併し其時天禍に反逆すると宜くない種々な障害が起ることになる今でも順行と云ふものを行ればば運勢が一變して吉くなることにもなる其れからお前さんも矢張り男女**性が發達**してゐるから男は一人で足らなきや二人でも三人でも其の邊は私は知らない御勝手たるべし

●正誤 貴社御發行の京城新報二月九日第八百八十二號第三面平民文庫欄に古阜郡書記井上虎造が鮮人より金千圓餘を詐欺せしとあるは事實無根にして六年前恩義ある日本人の爲め保證人となりたるに本人の辨濟出來ざるを以て昨年三月本人に代り元利金一千圓を支拂ひたる事實あるものを斯く風聞或は捏造したるものと信ずれば全文を掲げ御取消相煩度候也
明治四十五年二月十二日
古阜郡書記井上虎造印
京城新報社御中

廣告

●諸公債株券現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
雜業
諸官衙御用達 既製洋服卸小賣
京城本町三丁目
大坂野村徳七代理店
田中友吉商店 電話九九三 電略(ク)

倉庫出料理 仕出し
大房屋あり

月經をつうじ 子宮病を全治す
月經不順、月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病血の道、頭痛、食物進ます、氣分鬱ぎ、逆上強く等の病を根治し、血のめぐりを能くす
二十世紀の新發明 最良新藥 毎月丸
價 一日八錢半週分廿五錢一週五十錢 二週分壹圓、三週分壹圓四十錢
月經に異動ある人持藥とせば毒血を下し子宮病に罹る憂ひ更になき良劑也
本舖 大阪心齋橋一丁目 丹平商會本店
支店 東京日本橋通四町 丹平商會支店
賣捌 東京市内其他各店に取次す
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八番

淺田飴
肺病より起るたんせき 咽喉をいやし聲を發せしむ 病後のよわり 貧血性諸症
本舖 東京 大阪 堀内
良藥にしてよく口に甘し
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番一〇六八 振替口座京城十六番

貸倉庫
場所 京城本町一郵便局前
入用の御望の方は 電話一〇八六番へ

▲叮嚀▲迅速▼安價に修理可仕候▼
銃砲自轉車修繕
▲英米自轉車中古格安品澤山取揃有之候間御一見の上御買求の程願上候
京城旭町一丁目 瀧川銃砲自轉車修繕部

板材木竹類販賣並に製材請負煉瓦各表類、日本舖塗料
株式會社製品販賣
京城古市町二丁目
堀内商會京城支店材料部
電話一〇一一番 振替口座京城二〇六番

精神 感應(催眠術) 諸病治療 (無催眠)惡癖矯正
◎◎大剛庵 南山町一丁目 六十四番戶ノ二

口中香錠 ボイス VOICE
僅か一粒を口にせば其味頗る美にして香聲朗らかに芳香の馥郁たるに都鳥の粋な容器は意向に投じて賣行き盛なり
定價種別 徳用包入金五十錢 桐函入金三十錢 都鳥付形入金二十錢 容器入金十錢 袋入金五錢
ボイス必用の時
●病者見舞の時 ●人込へ行く時 ●滊車滊船に乗る時 ●惡疫流行の時 ●つかれ抜けの時 ●宴會の時 ●口中の臭氣ある時 ●湯や食べ物を飲む時 ●口中を爽快にする時
▲喫煙前に一二粒を口にすれば烟草の味を能くし又烟毒を豫防す
全國有名藥種雜貨化粧品店に於て販賣す
發賣本舖 東京日本橋區本石町四 松澤常吉
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

京城旭町一丁目
齋藤齒術所
電話一四一四番

洋藥賣藥 問屋
京城本町一丁目(郵便局前)
山岸天佑堂藥房
電話三七二番 振替二〇三番

醫科理化學 機械
京城本町一丁目(府廳前)
同機械部
電話一〇六番

元祖 食パン
菓子パンアンパン各種
總督府各官衙御用
陸軍御用
製造卸小賣商
京城太平町二丁目 相川兄弟商會 (電話一一八九番)
釜山富平町一丁目 相川兄弟商會支店 (電話二七六番)

齒科診療
京城本町二丁目三越吳服店前
野田齒科醫院
仁川仲町三丁目永吳服店際
野田齒科醫院分院

紙と印刷
諸官衙御用
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
京城永樂町二丁目
播本商店 電話白拾番

一日にして効能は現る
複方 タルリン
りんびょうらい病薬
諸方病院長有効證明
價 三日分 廿錢 七日分 四十錢 十四日分 七十五錢
本舖 日本大阪 高橋盛大堂
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房
到る處の藥店に販賣す

最上醬油
高
釀造元
仁川港萬石町
高杉醬油釀造場
電話七六五番

特製品國旗印 東京澤庵漬元卸
諸漬物卸專業
京城南大門通り二丁目
鳴屋
電話九〇三番 振替貯金京城五七番
目下船毎に澤山着荷可仕候産地下落の爲め大安賣可致に付此際御買入御得策と存候

政宗 醸造元
正則 清正
酒 小賣壹升に付三十五錢
清酒味淋燒酎釀造元
卸賣は特別割引可仕候
京城壽町三丁目
中井酒造場販賣部
並に日用食料品雜貨類
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候 電話百七十七番

物理化學機械
模型標本類
體操及運動具
教具校具一式
測量製圖機械
水彩及油繪用品一式
和洋紙帳簿一切
歐米文房具
●新案韓語栞發賣所●
●國語指南●
朝鮮京城本町三丁目
平田商店
教育品部 用達部
電話一一五番 電信略號(ヒ又はヒラタ) 振替口座京城四六八番

銀行一般の業務精々御便利に取扱申候
株式會社 十八銀行支店
京城黃金町(銅峴)
電話四二〇番五八〇番
○○本店 長崎市
○○日本朝鮮の各枢要地並に露領浦鹽、清國安東縣、大連に支店、出張所又は爲替取引先有之候
○株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候
●貯蓄預金
○○元金百圓に付日歩一錢二厘
○一口一錢以上何程にても御預り申候
貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候

銘酒 誠
仁川山根町 誠見釀造場

英國セフヒールド市 シーボムアンドディキスタル製鋼會社特約品
鑛山用 地球鷲印八角鋼
道具用 同 角磨鋼
職工用 同 鑢各種
右は朝鮮一手販賣罷在候處清鮮地に材穿鑿具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦内地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候
和洋金物商
京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
(電話四五番) 電信略號「ク」振替貯金口座京城二五六番

試驗濟 消毒牛乳
牧場直轄
京城永樂町二丁目
京龍牛乳販賣所
電話一七一〇 一九八八番

牛馬犬猫 治療所
入院隨意
京城明治町三丁目
小川家畜醫院
院長 小川 太
(電話四二七番)

主治
●赤痢病●コレラ病●腸胃加答兒等に用ひて實効速なり
●常に此丸を朝夕五粒づゝ服すれば腸胃の疾病を治し食物の消化を能くす
くだり病一切の特効藥
健胃固腸丸
本劑は全國到る所の賣藥店及取次販賣所にあり
發賣元 大阪市東區伏見町 淀筋角 本舖 谷回春堂
(電話東四五八番) (振替貯金番號八三〇)
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八番

入院隨意
京城壽町三丁目 (電話三七八番)
中島醫院
院長 醫學得業士 中島貞信

大坂瓦斯コークス並に器具一式
國定教科書 文房具販賣
仁川新町二丁目
百崎金港堂
電話五百八番

キ
二月中 滊船出帆廣告
三省丸 舊島行 二月十七日前八時
大東丸 海州行 二月十九日前三時
成歡丸 中和行 二月二十日前八時
海利丸 海州行 二月二十一日前二時
三省丸 大湖芝行 二月十七日前八時
荷客取扱所
仁川本町四丁目 合資會社 秋田商會船舶部 電話七五〇番
仁川本町一丁目 秋田商會船舶荷扱部 電話四一九番
仁川本町海岸通 柴田回漕店 電話五二二番
仁川本町四丁目 山本回漕店